

ZOUSUI

～LLMと煮込め、もしもの世界～

15C 思索駆動 片野凱介

日常で、もしこうだったらどうなるんだろう？とアイデアを思いついたのに、**実現できず** 熱が冷めてしまうこと、ありませんか。

『zousui』は、そんな「もしも」をLLMで**体現**する実験場です。

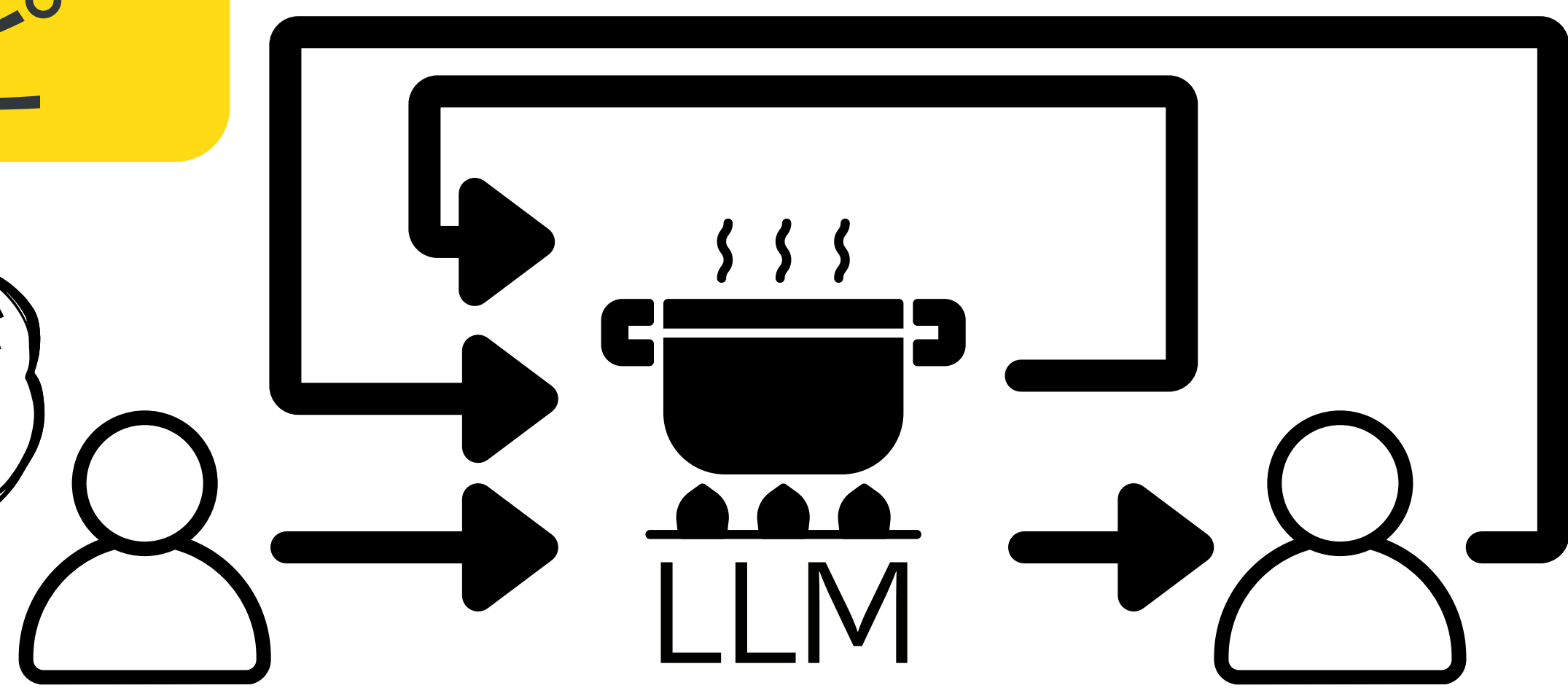
複数のLLMが互いに干渉し合い、誰も予測しない文化や歴史を生成する仮想社会を構築します。

誤情報やプロンプトハックの影響も取り入れ、「**意外性**」をリアルに楽しむのが狙いです。

煮込むほど元の形が分からなくなる“雑炊”のように、アイデアとAI、そして人間が混ざり合う新しい体験を提案します。

レシピ

LLMに寿命があったら…？



ふとした日常で、「もし〇〇だったらなあ」と考えが湧き出ること、ありますよね？でも、メモしたアイデアを見返した頃には「あれ、なんだったっけ？」とメモしたときの熱量が失われちゃってることはありませんか？

そうです、せっかくのアイデアは記録できても、気になる情熱はメモしきれないんです。じゃあ、その場ですぐに試してしまえたら、どうでしょう？

しかも、ただ試すだけじゃなくて、少し手放してみるのはどうでしょう？

例えばそう、人とLLMが混ぜ合わったり、入力と出力が混ぜ合わさったり。

そこには、どんな**意外性**があるでしょう…？

なにをするもの？

- 一言で: 複数のLLMや人間のアイデアをひとつの“大鍋”に入れて煮込むように混ぜ合わせ、想定外の文化やストーリー、誤情報まで丸ごと楽しむ仮想社会シミュレーション
- 通常のAI活用: 人間→AIで質問応答するだけ
- zousuiの特徴: LLM同士が互いにやりとりし、人間のアイデアも絡み合っている間に変わっている → 意図外の展開が自然発生する
- 意外性: 驚き由来の興味関心「え、いつの間に?」「これ今どうなってるの?」
- 曖昧さ: 初期プロンプトであるアイデアが雑炊のように煮込まれていく
- 役に立つの?: 実務ツールではなく、アイデア実験・学習などが主目的
- 誤情報やハックが社会をどうゆがめるかという点でセキュリティ教育にも
- “もしも”で終わらず、ちゃんと形になるの?
 - 元のアイデアという曖昧なものが、そのまま曖昧で進む。雑炊のように、原型を失うほど混ざった結果、意外性のあるおいしいアイデアになる可能性がある
- 名前の由来は?: 日本料理の雑炊みたいに、多種多様な具材(LLMや文化要素)が混ぜり合って、独特の味わいを生むイメージに由来

私の見たい、もしも

- ☺ LLMに寿命があったら? → 世代交代や継承みたいなことを始める?
- ☺ LLMに宗教があったら? → 一般公開のLLMは無難な出力になってしまう?
- ☺ 定期的な記憶喪失になったら? → 歴史が断片化する? 他者に保存される?
- ☺ 嘘つきだらけだったら? → 世界はめちゃくちゃになる? 意外と大丈夫?
- ☺ 国家が定期的に移動したら? → 他国との関係を取らなくなったりする?
- ☺ 国家じゃなくて国籍や所属なら? → みんなやる気をなくしちゃう?
- ☺ LLMが矛盾だらけになる「病気」を作ったら? → 周囲は救済する?
- ☺ ログとして歴史を作った時、だれかが改ざん可能な状態なら?
- ☺ SecHack365を通しての「もしも」(右面)

デモ画像

「海底で歌と踊りを好む平和な国」をシュミレートし、「砂漠での生存術が中心の文化の国」と干渉した後の状態が左。左の画面下部の見切れた場所には、この国を写真にしたものがある。



Description:
Population: 360

Culture
「深海神秘主義と技術的調和 (Abyssal Mysticism and Technological Harmony)」: OceanicCityは、既存の海洋保護を重視する姿勢を維持しつつ、深海への畏敬の念と探求心を深めます。具体的には、深海生物の未知なる生態や深海環境の神秘に焦点を当てた哲学、芸術、科学研究を推進します。深海からインスピレーションを得た瞑想や儀式を取り入れ、コミュニティメンバーの精神的な成長を促進します。同時に、深海探査技術、深海資源の持続可能な利用、深海環境保護のための革新的な技術開発を積極的に行います。この文化は、深海への畏敬の念と科学技術の進歩を融合させ、人類と海洋の新たな関係性を築くことを目指します。

シュミレート 他国との干渉 画像生成

削除 一覧に戻る 編集

Generated Image:

SecHack365の中で

🍲 セキュリティとは？

- セキュリティについて自分なりの答えを持ちたい、説明可能になりたい
- →そもそもセキュリティは多義だ(サイバー -, 情報 -, 物理的な -)
- →立場で見方が違う(例: フィッシングにおける、被害・攻撃・調査)
- 断片的にでも得られるものを SecHack365 に求めよう

🍲 LLMにとっての心理的セキュリティ

- 具体的に絞ることで進んでみる
- 多義なセキュリティ→心理的、立場(誰にとって)→LLMにとって
 - 画像生成AIを使った作品の 著作 を巡った話題をSNSで見かけた
 - →人が作ったって重要? 作るではなく評価する人工知能なら?
 - 人工知能にとっての → LLM にとっての
 - LLM に心理は無いかもしれないが、利用者はそこに見出す

🍲 人と人工知能の区別が曖昧になった世界

- 日本科学未来館でLOVOTという愛されるためのロボットと出会った
 - 子どもの「こっち向いてよ」と引っ張る姿が印象に残った
 - LOVOTさんがロボットではなく、動物だったら同じようにしてた?
- ChatGPTにトロッコ問題を投げた時、主観みみれの回答が出なかった
- ニュースサイトの架空コメントを生成してもらったが、無難が多かった
- 「私は人工知能だから～」という前置きが目立った

→人と人工知能って分ける必要があるの？

もしも分けなかったら？

生成する人工知能だけじゃなく、

もしも評価・感受する人工知能がいたら？

そこに人と人工知能の区別がなければ、

創作活動はどう変わるの？

創作物はどう変わるの？

意外と、何も変わらないのだろうか。



🍲 人と人工知能の区別が曖昧になった世界

- 日本科学未来館でLOVOTという愛されるためのロボットと出会った
 - 子どもの「こっち向いてよ」と引っ張る姿が印象に残った
 - LOVOTくんがロボットではなく、動物だったら同じようにしてた?
- ChatGPTにトロッコ問題を投げた時、主観みみれの回答が出なかった
- ニュースサイトの架空コメントを生成してもらったが、無難が多かった
- 「私は人工知能だから～」という前置きが目立った

→人と人工知能って分ける必要があるの？

🍲 ん、自分のしたいこと、熱、どこ？

• 「もし〇〇だったら」と思ったとき、モノに変換

• セキュリティとは何か、自分なりに手を動かしながら

技術

- ☺ クリーンアーキテクチャ
- ☺ Go(Gin)
- ☺ React + React-Bootstrap

